

ジブチ出身のフランス語作家

WABERI 氏と語ろう！



(ル・クレジオもノーベル文学賞受賞スピーチでワベリ氏を称えました)

5月13日(水)

12:30~13:00 ランゲージ・ラウンジ(茶話会)

13:05~14:30 香雪館 203(スピーチと質疑応答)



星々がその輝く肉体を移動させる。

夕暮れの鳥が流血と乱痴気騒ぎを予告する。

人々は、陸に思いを巡らし、流星を夢想し、集団的蜂起を明日に引延ばす。

一つの火花が——それは、恐怖のそれなのかそれとも

激しい抵抗のそれなのか？——彼らの顔を輝かせる。

(アブドゥラマン・アリ・ワベリ『バルバラ』より)

通訳付き！ どなたでもどうぞ！！